



人がつくった50年間。
つぎの50年も、人がつくる。



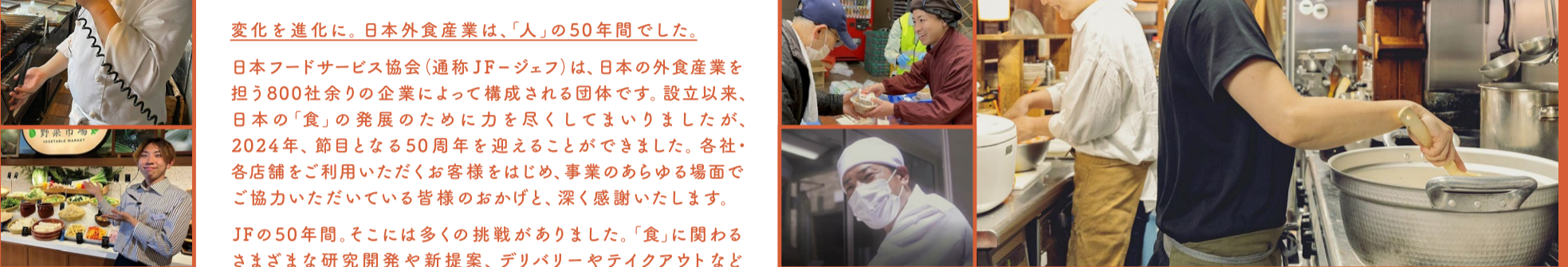
変化を進化に。日本外食産業は、「人」の50年間でした。

日本フードサービス協会(通称JF-ジェフ)は、日本の外食産業を担う800社余りの企業によって構成される団体です。設立以来、日本の「食」の発展のために力を尽くしてまいりましたが、2024年、節目となる50周年を迎えることができました。各社・各店舗をご利用いただくお客様をはじめ、事業のあらゆる場面でご協力いただいている皆様のおかげと、深く感謝いたします。

JFの50年間。そこには多くの挑戦がありました。「食」に関わるさまざまな研究開発や新提案、デリバリーやテイクアウトなど新業態を実現しながら、「食」の安全・安心、日本ならではの食文化の継承・発展、環境問題をはじめとする社会課題に取り組んでまいりました。

避けられない逆境もありました。景気の悪化、自然災害、そして近年ではコロナ禍など道を遮るものを乗り越えながら前へと進んできました。

そして今、日本の外食産業はお客様に「特別な日のごちそう」から「毎日の楽しみ」まで、広く大きくおいしい価値をご提供し、24兆1512億円(2023年)の市場規模にまで成長することができました。



そんな外食産業を動かしてきたのは、「人」でした。

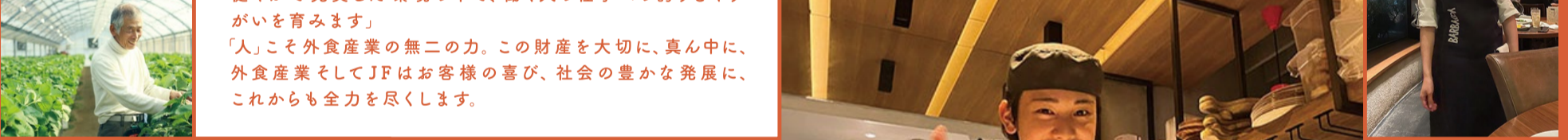
お客様に広く、大きく、深く「食」の喜びをご提供してきたのは「人」。挑戦を続け、時に逆境に向き合いながら、「食」を守り進めたのは「人」。コロナという危機の中での外食待望の声に、乗り越える勇気と力をいただいたのも「人」。

外食産業を動かし進めるのは、これまでもこれからも、紛れもなく働く「人」です。

JFはこのたび、新しく宣言を定めました。その中にこのような文があります。

「私たちの「食」の豊かな価値は、働く人がつくり上げるもの。健やかで充実した環境の中で、働く人の仕事への誇りとやりがいを育みます」

「人こそ外食産業の無二の力。この財産を大切に、真ん中に、外食産業そしてJFはお客様の喜び、社会の豊かな発展に、これからも全力を尽くします。」



JF(日本フードサービス協会)は
創立50年を迎えました。

